

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年10月27日

事業所名: ONE TRY 対象人数(保護者)36人 回答者数 24人 回収 66.7%

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------------|--|--|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ・子どもたちが安全に楽しく活動できるように配慮しています。 | ・人数が多い時は、十分にスペースが確保されているとは言えない。 ・設備に関しては行ったことないので、どちらともいえないとおきます。 はい:18 いいえ:0 どちらでもない:6 | ・スペースに関しては1人に対して、必要なスペースは確保しております。今後は、より利用者様が利用しやすい環境を整えていきます。 |
| | 2 職員の適切な配置 | ・職員に関しては、多くの人員配置を行っている。 | 記載なし はい:17 いいえ:0 どちらでもない:7 | ・利用児童に対し、よりよい支援を行うために、法令で必要とされる配置数に加え、新規入職した職員(指導員又は保育士)の定着率を高め育成します。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ・バリアフリーは行っている。その都度工夫し、改善を行っている。 | ・事業所に行く機会がないので、あまり覚えていない。 はい:14 いいえ:0 どちらでもない:10 | ・契約の際に説明させていただいておりますが、より皆様に周知していただけるようにします。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | ・毎日清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるよう徹底している | 記載なし はい:14 いいえ:0 どちらでもない:10 | ・今後も継続して、清潔な空間が保てるようにしていきます。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | ・日々、療育内容や指導の在り方を共有・検討しています。 | | ・今後も継続して実施していきます。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | ・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。 | | ・今後も定期的に第三者の方に来ていただき、施設の現状を見ていただきます。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | ・事業所内での開催を企画しています。 | | ・今後は外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・日々の送迎時の申し送りや保護者面談を行いニーズを把握したり、日々のお子様の様子を記録し、個別支援計画を作成しています。 | 記載なし はい:24 いいえ:0 どちらでもない:0 | ・今後も各関係機関と連携を取り、支援の質の向上に努めていきます。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・個別での支援・集団での支援を項目に入れて作成しております。 | 記載なし はい:24 いいえ:0 どちらでもない:0 | ・今後も個別・集団と保護者の方がより理解されやすいような表現と連携を目指します。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | ・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。 | 記載なし はい:24 いいえ:0 どちらでもない:0 | ・今後も支援内容が分かりやすいように記載することを心がけていきます。 |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | ・支援に関して、個別支援計画書通りに全職員で確認し実施しております。 | 記載なし はい:24 いいえ:0 どちらでもない:0 | ・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | ・職員全員で話し合い、子どもたちが楽しく色々な体験が出来るように考え活動プログラムを作っています。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・毎月のプログラムについて職員全員で会議をし、より幅広いプログラムの立案を作成していきます。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | ・療育時間が違いますので、日々利用者様が見通しをしやすくように工夫しております。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・平日と休日・長期休暇においてはプログラムを変更し、活動を提供しています。特に、休日、長期休暇においては、外出活動など平日では取り組むことができない体験活動に積極的に取り組んでいます。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | ・活動プログラムが同じにならないように、変化をつけて行っております。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・今後も子どもたちが個々のペースで楽しんでいけることを大切にしていきます。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | ・日々、会議の場で療育内容の確認・職員の役割分担を行っております。 | | ・今後も徹底していきます。 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | ・職員間で共有し、課題があれば話し合いを行い共有し、解決を図っております。 | | ・今後も職員間で共有をしっかりと行っていきます。 |
| | 10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ・毎日、支援の記録をひとり一人行い、支援の改善が必要な場合は会議を持っています。 | | ・今後も必要に応じて、実施していきます。 |
| | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | ・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っております。 | | ・今後も定期的に見直しを行っていきます。 |
| | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画 | ・毎月、代表・管理者による会議を開催し、連携を図っております。 | | ・今後も定期的に会議の場を設けていきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--|--|---|--|---|
| 関係機関との連携 | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | ・現在医療的ケアが必要な子供はおられません。地域・学校とその都度連携を図っております。 | | ・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。 |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | ・現在医療的ケアが必要な子供はおられません。協力医療機関への相談や主治医の確認は行っていますが、コロナの状況もあり医療機関との連携が少なかったと思います。 | | ・今後も必要に応じて、医療機関と連携を図っていきます。 |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有 | ・主に児童発達支援管理者・代表・管理者で行っております。 | | ・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | ・卒業生になる子がいませんでしたが、連携は行っております。 | | ・今後も、子供たちの状況に応じて、各関係機関と連携を取っていきます。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。 | | ・今後も職員全員に研修の情報を共有し、積極的に参加するように伝えていきます。 |
| | 7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | ・今年度は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、交流を持つ機会は少ないですが、いくつかの地域の催しに参加しました。 | 記載なし はい:10 いいえ:5 どちらでもない:9 | ・地域の祭りや音楽祭・パルに参加をしていく予定です。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | ・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。 | 記載なし はい:10 いいえ:5 どちらでもない:9 | ・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。 |
| | 保護者への説明責・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | ・契約の際に説明しております。また、支援内容に関しては日々の連絡帳やラインを使い、行っております。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 |
| 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | | ・児童発達支援管理者が主に説明を行い、ご理解を頂けるようにしております。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・今後も分かりやすく丁寧に説明する事を心がけてまいります。また、制度や支援について相談していただける事を周知出来るよう努めます。 |
| 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施 | | ・新型コロナの関係で実施出来ませんでした。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・ペアレントトレーニングには今後力を入れていきたいと感じています。また、事業所内外で研修会を多く開き、保護者様の支援につながるようにしていきます。 |
| 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | | ・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。 | 記載なし はい:23 いいえ:0 どちらでもない:1 | ・今後も日頃から子供たちの状況等をお伝えしていきます。 |
| 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | | ・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。 | 記載なし はい:21 いいえ:0 どちらでもない:3 | ・今後も相談を受けた際には適切な対応、助言を行っていきます。 |
| 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | | ・現在、保護者会はありませんが、今後作る予定となっております。 | ・保護者同士の連携はない。 ・コロナ感染予防の為、集まる事は難しいと思います。 ・此方もコロナ禍の中、厳しいとは思いますが機会があれば良い。 | ・今後保護者会については計画を立てており、交流を増やしていきます。 |
| 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | | ・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。 | ・苦情ないのでわかりません。 はい:19 いいえ:0 どちらでもない:5 | ・今後もより一層多くのケースを想定した会議を行い、苦情の対象にならぬよう体制を整えたとともに、苦情の解決方法などもより良い形を模索します。 |
| 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | | ・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。 | 記載なし はい:24 いいえ:0 どちらでもない:0 | ・今後も喜んでいただけるよう工夫をまいります。 |
| 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | | ・行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。 | 記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:2 | ・ホームページの更新頻度を増やしてまいります。 |
| 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | | ・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。 | 記載なし はい:23 いいえ:0 どちらでもない:1 | ・個人情報に関しては今後も細心の注意を払い取り扱います。 |
| 非 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | ・各マニュアルを作っており、職員間で周知徹底しております。 | ・マニュアルが策定されているのか、よくわからない。 はい:15 いいえ:0 どちらでもない:9 | ・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布致します。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | ・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。 | ・定期的に訓練をしているとは、聞いていない。 はい:15 いいえ:0 どちらでもない:9 | ・職員ミーティングの際、避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修がある際は職員が参加していきます。 ・訓練を行った際には、HPIに掲載するなど保護者様に実施の様子をご確認していただけるようにしていきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------|--------|---|--|---|
| 常時等の対応 | 3 | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | ・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。 | ・外部の研修に職員が参加したり、内部研修行っています。 |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | ・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず説明と了解を受けてからの実施を致します。 | ・拘束する場合がないような支援を目指しますが、やむを得ない場合も確実に保護者様との情報共有を行った後に実施いたします。 |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | ・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。 | ・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。 |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。 | ・ヒヤリハットに関しては、今後も多くの事例を例題にして全職員から意見を求め支援の方法や対応の方向性の一致を図ります。 |

◎自由記述による意見

- ・学校の長期休暇時は、1日の療育時間が長くなるので、他の施設など取り入れた療育があっても良いかと思う。
- ・今後も運動を中心に活動させていただければ幸いです。
- ・プール療育をして欲しいです。
- ・可能であれば個別でOT,PTのプログラムを実施して欲しい。
- ・何が出来るのかは分からないが利用者の皆が明るく成長出来る物を希望。
- ・歯磨きや散髪など生活に必要な事をして欲しい。
- ・自分で計画を立て、実行するようなプログラムがあると自立性が育まれて良いのではないのでしょうか？